

# 各書物の目次

© 2024.08.29

## CAT1 『統合』（完成）

心理療法 理論と実践の認知的統合

アンソニー・ライル

コンテンツ

序文

- 1. はじめに
- 2. 手続き型シーケンスモデル
- 3. 防御、ジレンマ、罣、障害
- 4. 感情と症状
- 5. 自己
- 6. 教える、学ぶ、治療する
- 7. 心理療法: 選択、評価、焦点
- 8. 治療における積極的な方法
- 9. 転移: 患者とセラピストの間の比喩的な関係 102
- 10. 指示、構造、解釈、および戦略
- 11. 困難な患者
- 12. 進行状況のマークと治療の終了
- 13. セラピストになることとセラピストであることについて
- 14. 自己精査と自助を助けるもの
- 15. あとがき
- 参考文献
- 付録: レポートリー グリッドの理解への貢献
- 著者索引
- 件名索引

---

## CAT2 『Active』（完成）

Cognitive-Analytic Therapy: Active Participation in Change

A New Integration in Brief Psychotherapy

目次

序文

シリーズの序文

謝辞

第1章認知分析療法の起源と主な特徴1

第2章3. 改革プロセスと執筆の利用15

第3章基本的な治療手順 アマンダ・M・ポイントン28

第4章12セッション: 編集済みのトランスクリプト54

第5章複雑な構造改革とオブジェクト関係理論96

第6章人格障害患者の治療119

第7章長期患者を対象としたCAT技術148

第8章CATとカップルセラピー165

第9章様々な臨床環境におけるCATの使用178

第10章CATの理論的基礎

第11章認知療法とCATの発展

第12章CAT、精神分析と精神分析心理療法

第13章教育、スーパーバイズ、学習

第14章CATを評価する

付録

-----  
CAT3 『Development』

“Cognitive Analytic Therapy Developments in theory and practice”1995

目次

編集者について

寄稿者のリスト

序文

1 認知分析療法: 歴史と最近の発展 アンソニー・ライル 1

2 CATの実践 アンソニー・ライル 23

3 意図的な自傷行為を伴う非常に短期間の精神療法的介入 ポーリン・カーメドウ 55

4 CAT を使用した摂食障害の治療: 2 つの事例 フランチェスカ・デンマン 67

5 グループのCAT ノーマ・メイプルとイアン・シンプソン 77

6 初期開発 ミカエル・リーマン 103

7 認知療法に関連したCAT ジョン・マルジリエとジリアン・バトラー 121

-----  
8 CAT はどの程度分析的ですか? ティム・レイトンとアンソニー・ライル 139

9 CATの監査 チェス デンマン 165

10 CATに関する研究 アンソニー・ライル 175

11 今後の展開 アンソニー・ライル 192

インデックス 195

-----

CAT4 タイトル不明『認知分析療法入門 原則と実践』らしい

- 1. CAT の範囲と焦点
- 2. CAT の主な機能
- 3. 自己の発達: 背景考慮事項
- 4. 自己の正常および異常な発達と心理療法への影響

-----ここまで完成8/28

- 5. 個々の猫に対する患者の選択と評価
- 6. 改革セッション
- 7. 治療関係: 変化に取り組む
- 8. セラピスト介入の詳細な猫モデルと監督におけるその使用
  - 9. さまざまな状況と状況にある猫
- 9. 人格障害の治療
- 10. 「困難な」患者と状況 改革
  - あとがき
  - CATの特徴 214
  - CAT の継続的な拡張 215
  - 証拠ベースと研究 216
  - CAT の暗黙の値 217
  - 用語集219

-----

CBT目次

コンテンツ

パート I. 歴史、哲学、および科学的基礎

- 第1章。 歴史および哲学的根拠 認知行動療法の研究 キース・S・ドブソンとデビッド・J・A・ドゾフ
- 第2章。 認知行動療法の証拠ベース 39 アマンダ・M・エップとキース・S・ドブソン
- 第3章。 認知科学と概念的基礎 認知行動療法: 進化万歳! リック・E・イングラムとグレッグ・J・シーグル
- 第4章。 認知行動療法 94 と心理療法の統合 T・マーク・ハーウッド、ラリー・E・ボイトラー、マイリー・シャルバット

パート II. 評価に関する考慮事項

- 第5章。 認知的評価: 問題と方法 133 デビッド M. ダンクリー、カーク R. ブランクスタイン、ジンデル V. シーガル
- 第6章。 認知行動事例の定式化 172 ジャクリーン・B・パーソンズとジョーン・デイビッドソン

## パートⅢ。治療法

第7章。問題解決療法 197 トーマス・J・ダリラとアーサー・M・ネズ

第8章。合理的感情行動療法 226 ウィンディ・ドライデン、ダニエル・デイヴィッド、アルバート・エリス

第9章。認知療法 277 ロバート・J・デルベイス、クリスチャン・A・ウェブ、トニー・Z・タン、アーロン・T・ベック

第10章。スキーマ療法 317 レイチェル・マーティンとジェフリー・ヤング

第11章。マインドフルネスと受容介入 認知行動療法における アラン・E・フルゼッティ、カレン・R・エリクソン

## パートⅣ。特定の集団への適用

第12章。青少年に対する認知行動療法 375 サラ・A・クローリー、ジェニファー・L・ポデル、リナド・S・ベイダス、ローレン・ブラズウェル、フィリップ・C・ケンダル

第13章。認知行動カップル療法 411 ドナルド・H・バウコム、ノーマン・B・エプスタイン、ジェニファー・S・カービー、とジャスリーン・J・ラタイラード

第14章。多様な集団に対する認知行動療法 445 デビッド・W・パンタローネ、ゲイル・Y・岩政、とクリストファー・R・マーテル

インデックス 465